

～魔槍戦記～

かつて千年の昔 突如出現した触手の魔物たちは
破壊と凌辱の限りを尽くした。

国家は崩壊し、人々は限られたエリアでの生活を余儀なくされた。

しかし、いずこからともなく不思議な力を持つ少女たちが現れ始める。

彼女たちは輝く槍を持ち、その強大な力で次々と
魔物たちを駆逐していった。

人々は畏敬の念を込め、彼女たちを
魔に槍刺すもの、「魔槍少女」と呼んだ…

魔槍

「始原の女神」が持っていたとされる光輝く槍。

その力は資格を持つ少女たちに分け与えられ、
数多くの魔槍少女が生まれた。

無数の「破片」となった魔槍は時代を経て、
様々な形の武器へと姿を変えていった。

現代では槍の形をとどめて居るものの方が少ないが、
魔力を帯びた武器は総じて「魔槍」と呼ばれる。



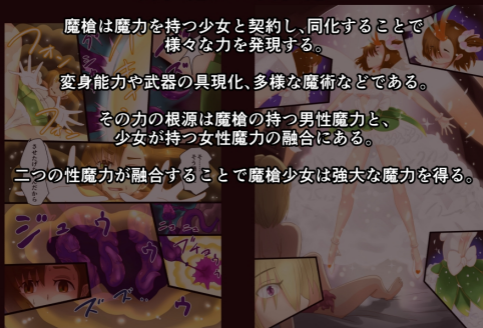
男性魔力と女性魔力

魔槍は魔力を持つ少女と契約し、同化することで
様々な力を発現する。

変身能力や武器の具現化、多様な魔術などである。

その力の根源は魔槍の持つ男性魔力と、
少女が持つ女性魔力の融合にある。

二つの性魔力が融合することで魔槍少女は強大な魔力を得る。



魔槍の同化

魔槍は戦闘においては武器として具現化するが、日常生活では少女の体内に同化し、見た目には通常の人間と変わらない。

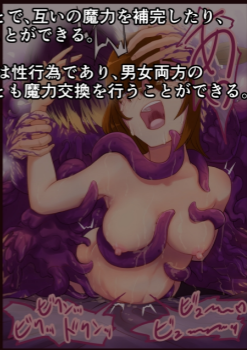
しかし魔槍少女は魔槍の持つ男性魔力をコントロールすることで、男性器を出現させることができる。これは主に「魔力交換」に使われる。



魔力交換

魔力保持者は魔力を分けあうことで、互いの魔力を補完したり、効果を高めることができる。

魔力交換の最も効果的な方法は性行為であり、男女両方の性器を持つ魔槍少女は、男女どちらも魔力交換を行うことができる。



魔力同期

魔力交換時に両者が絶頂した場合、魔力同期がなされる場合がある。

同期した場合、それぞれの魔力の半分を相手に与えあう。

これにより互いの魔力量は同じになり、固有能力なども互いに使用可能になる。

魔力同期した魔槍少女は一人前とみなされ、その相手はパートナーと呼ばれる。





魔槍協会

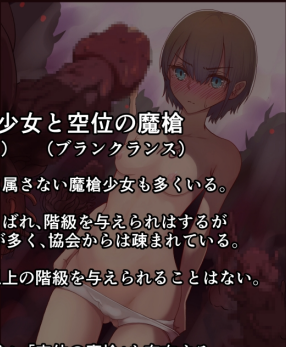
始原の女神とともにあったとされる「従者」たちによって創立された。
正式名称は世界魔槍管理協力会(MSA)。

魔槍は長い歴史の中で世界中に散らばり、あるものは持ち主を失い、
あるものは秘匿され、歴史の闇に埋もれていった。
協会は魔物と戦うためにそれらを探索し、次世代の魔槍少女に
継承させ、育成することを目的としている。

協会中枢は男子禁制とされているが、「従者」として
協会に従事する男性は存在する。
彼らはフードをかぶり、人前に姿を見せることは少ない。

全ての魔槍と魔槍少女は協会の管理下に置かれ、魔物討伐の
依頼を受ける。そしてその功績として階級と
それに応じた待遇と特権が与えられる。

その「特権」は高位の魔槍少女ならば世界規模となるため、
魔槍少女になるために協会の門をたたく少女は後を絶たない。



在野の魔槍少女と空位の魔槍

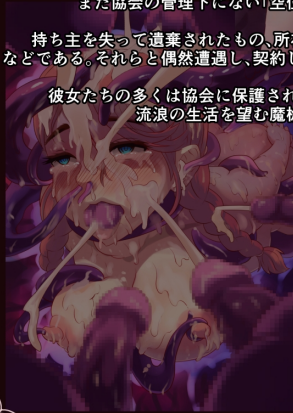
(フリーランス) (ブランクランス)

しかし実際には協会に属さない魔槍少女も多くいる。

彼女たちは「在野」とよばれ、階級を与えられはするが意に介さない魔槍少女が多く、協会からは疎まれている。

そのため彼女たちが一定以上の階級を与えられることはない。

また協会の管理下でない「空位の魔槍」も存在する。



持ち主を失って遺棄されたもの、所在不明のもの、未発見のものなどである。それらと偶然遭遇し、契約して魔槍少女になるものもある。

彼女たちの多くは協会に保護されるが、まれにそれを嫌い、流浪の生活を望む魔槍少女もいる。